

●木津川運動公園

前回検証結果	継 続 ・今後の木津川運動公園全面供用や近隣施設の整備を踏まえ、地域住民や府内企業の参画を得ながら、更なる利用者の満足度を高める仕組みづくりに取り組むこと。 ・更なる効果的な利活用に向け、駐車場の確保を検討すること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	○南側の特色を生かした魅力ある運営 ・上空が開けた約2haの大芝生広場を活かし、地域の商工関係やアーティスト等と連携したイベントを年間を通して継続開催。令和4年度から府民等の公園パートナーが開催するイベントや講座の開催数の増、民間事業者と連携し夜空に浮かぶランタンの幻想的な風景を楽しんでもらうイベント「セタスカイランタンまつり」を開催 ・平日の利活用促進として、令和4年度から球技（主として高齢者のグラウンド・ゴルフ）で利用したい団体が優先利用できる「オープンデー」の取り組みを実施、令和7年度からは小学生以下のボール遊びにも取り組みを拡大 ・令和5年度から要望の多かったペット同伴を利用期間とエリアを区切って試験的に解禁、更に、囲った範囲で小型犬を遊ばせることができるドッグランについて令和8年度からの実施を検討中 ・令和4年度から要望の多かった正月の2日間（1/2, 1/3）に臨時開門を実施 ・従来の府民参画に加え、令和4年度から企業CSR向けにも公園を開放し、自然再生の森づくり活動や自然環境を活かした環境学習の場としての活用を促進 ○隣接する友愛の丘との連携 ・令和4年度から友愛の丘の大学生キャンプカウンセラーが子供向けのプレイパークなどのイベントに参画 ・令和5年度から友愛の丘施設業務課がバーベキューナイトなどのイベントに協力 ・令和7年度からどんぐりクラフトづくりなどキャンプカウンセラーが参画するイベントの開催を増 ○令和7年度時点で北側区域は供用できないものの、常設駐車場で151台に加え、多目的広場の臨時駐車場としての利用で118台、公園センター東側駐車場をイベント関係者などの臨時駐車場として51台、城陽市道の未供用部分で100台、隣接する企業の土地で50台程度の駐車場を必要により休日やイベント開催時に確保。
なお残る課題・問題点	◆有料施設がなく、自主事業も公益事業が中心であり、収入が少ないため、府の負担割合は100%の状況。

府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等	☐ イベント時以外の施設利用を促すべく、遠方からも来訪したくなるような取組実施や施設の魅力発信を図るべき。 ☐ イベント開催時等における駐車場の混雑緩和に向け、必要に応じて駐車場の増設を検討すべき。 ☐ 赤字経営が続いており、外注経費の縮減等、経費削減に努められたい。
京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎利用環境の改善を目指し、更なる利用者の拡大を図ること。 <今後の対応> ○大芝生広場を活用したイベントの充実に取り組むとともに、公園の利用環境の改善を図る。